

第5章 健康課題の抽出と保健事業の実施内容

1. 分析結果に基づく健康課題の抽出と解決のための対策

分析結果および前期計画の評価から明らかとなった健康課題と、健康課題に対して本計画で目指す目的、その目的を達成するための目標を示したものです。

項目	健康課題	優先する健康課題	対応する保健事業番号	データヘルス計画全体における目的
A	特定健康診査受診率の向上 ・年齢階層別の受診率を見ると、年齢が若いほど受診率が低く、男性では40歳～59歳、女性では40歳～49歳で30.0%を下回っています。	1	①、②、③	生活習慣病の早期発見や生活習慣病に対する意識づけを行うために、40歳～74歳への勧奨に限らず、若年層にも機会を設け、健康診査を習慣かさせることで、受診率の向上を図ります。
B	生活習慣病の早期発見・早期治療による重症化予防 ・健康診査データより、生活習慣に関連した検査項目（HbA1c、収縮期血圧、LDLコレステロール）の有所見者割合が高くなっています。 ・特定保健指導は令和2年度より目標値を下回りました。 ・メタボリックシンドローム該当状況を見ると、予備軍は10.0%、該当者は18.9%であり、血糖・血圧・脂質のすべての追加リスクを持っている該当者は6.2%です。 ・大分類別医療費の外来では上位4疾病中3疾病、細小分類による医療費では上位10疾病中5疾病が生活習慣病関連となっています。 ・人工透析の医療費は1人当たり約556万円であり、起因が生活習慣病の者は72.5%（Ⅱ型糖尿病66.4%、本態性高血圧症6.1%）が占めています。 ・生活習慣病を疾病別の医療費で見ると、腎不全が1位、腎不全の主な原因である糖尿病が2位となっています。	2	④、⑤、⑥、⑦、⑧	レセプトデータ、健康診査データ等から生活習慣病の重症化リスクを有する被保険者を特定し、保健指導、受診勧奨、講座を用いて適切な受療や生活習慣の改善等の行動変容を促し、重症化を予防することで、新規人工透析導入を抑制し、医療費削減を図ります。
C	医療費適正化と適正受診・適正服薬 ・受診行動の適正化が必要な被保険者が、重複受診では456人、頻回受診では541人存在します。 ・薬物有害事象の発生や副作用につながると懸念される15剤以上の長期多剤服薬者が205人存在します。	3	⑨、⑩	重複・頻回受診者、多剤服薬者に通知や訪問指導を行うことで、医療費の適正化、医療資源の有効活用と薬物有害事象発生防止を図ります。
D	健康寿命延伸と高齢者支援の充実 ・要介護（支援）認定率は県、同規模、国より低いですが、平成30年度から令和4年度にかけて第1号（65歳以上）認定者数は増加しています。 ・特定健診の質問票の状況の「運動」では、65歳～74歳の回答は国、県より良い結果となっていますが、要介護（支援）認定者の疾病別有病状況では「筋・骨格」が2位となっています。	4	⑪	医療・介護データを庁内で共有し、必要な事業につなげる等、連携を進め、地域の健康課題を整理・分析によるフレイル予防を通じて、高齢者を支援する体制づくりに努めます。

個別の保健事業については「2. 健康課題を解決するための個別の保健事業」に記載

※太枠の2026年度は中間評価年度、2029年度は最終評価年度。

評価指標	計画策定 時実績 2022年度 (R4)	目標値					
		2024年度 (R6)	2025年度 (R7)	2026年度 (R8)	2027年度 (R9)	2028年度 (R10)	2029年度 (R11)
健康診査受診率（法定報告値）	44.5%	44.8%	45.1%	45.4%	45.7%	46.0%	46.3%
18歳から38歳の健康診査受診率	53.4%	53.5%	53.6%	53.7%	53.8%	53.9%	54.0%
プレ特定健康診査の受診率	14.1%	14.3%	14.5%	14.6%	14.8%	15.0%	15.2%
特定保健指導終了者率	22.0%	23.0%	24.0%	25.0%	26.0%	27.0%	28.0%
参加者が医療機関を受診した割合（健康講座）	55.0%	56.0%	57.0%	58.0%	59.0%	60.0%	61.0%
受診勧奨対象者のうち医療機関受診割合	77.0%	77.5%	78.0%	78.5%	79.0%	79.5%	80.0%
参加者の受診率（糖尿病プログラム）	42.9%	45.0%	46.0%	47.0%	48.0%	49.0%	50.0%
新規透析導入数	54人	53人	52人	51人	50人	49人	48人
対象者の改善率（重複受診）	12.5%	12.6%	12.7%	12.8%	12.9%	13.0%	13.1%
対象者の改善率（多剤服薬）	—	12.0%	12.5%	13.0%	13.5%	14.0%	14.5%
2年連続高血圧未受診者の医療機関受診割合	—	50.0%	50.5%	51.0%	51.5%	52.0%	52.5%
骨粗しょう症検診受診率	23.8%	25.0%	25.5%	26.0%	26.5%	27.0%	27.5%